

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月6日 (15:00~16:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	5人	人	9人

前回の改善計画
先入観でケアしていくのではなく、全職員で話し合い決めたケアを確実にやっていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
全員で意見を出し合い1つずつ支援内容について話し合っている。しかし、再度内容確認の為に職員に意見を出してもらおうとケア内容が統一されていない事がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		7	2		9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	1		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	7	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	4	4		9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の方に関する情報共有は回覧等利用して迅速に行っている。
・声掛けのタイミング、声掛けの仕方など気を付ける事が出来ていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・サービス内容の検討が遅くなったり、決まったケア以外の事が個人判断で行われている事がある。
・的確に申し送りが無かったり、1度起きたヒヤリハットや事故が検討したにもかかわらず同じミスをおこしてしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
的確に申し送りを行い、統一したケアを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月6日 (14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	6人	1人	7人

前回の改善計画	～したいの実現に向けて1つずつの気づきを拾い上げ全職員で検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	～したいの実現に向けて、何度も話し合いを重ね、以前の支援内容も見直しを行い適したケアが行えるようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	6		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		3	6		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	6	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	2	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員会議等で意見を出し合い、話し合いを重ねる事が出来ている。また次回の会議等で、実践したことに関しても確認を行っている。 以前よりも気づきが増えてきている。以前までは何でも行っていた支援に対して、利用者様本人が出来る事に関しては本人様におこなってもらえるように促せている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 全職員での検討という面では、まだ不十分である。決めたこと・統一する内容も守れていない事が多い。 利用者の方に関わる事より日々の業務を優先し、業務も作業化している。 目標のゴールよりも目先の事で判断してしまっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ～したいの実現に向けての気づきの拾い上げ、利用者の関わりの統一を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月6日 (15:00～16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	3人	人	9人

前回の改善計画	他職員も記録を見る事を意識し、読みやすい書き方をしていく。知りえた情報は、自分の中で完結させず情報共有を行い職員間で連携をしていくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録・申し送りノート等、読みやすい字、読み手に伝わるように記入する事を意識出来ている。知り得た情報をうまく共有出来ていない場面も多々見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	6	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	4	2	2	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2	5	2	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		6	3		9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		6	2	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること しっかり声掛けをおこなっている。職員同士、話して伝えるだけではなく、文章として残すようにしている。情報などはノートなどに記入し共有している。 利用者の方に何か変化があると直ぐに報告し早く対応ができる様にしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らしの把握が出来ておらずそのまま支援にあたってしまっている。 個人ファイルの確認不足である。本人の気持ちの変化に気付かずいつも同じ介助をしてしまう。 業務化してしまい、誰の為に何の為にしているのか見失っている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 支援にあたる前の情報収集を必ずする。その中で、疑問点がある場合にはそのままにせず必ず聞くようにしていく。状態によって支援が変更していく為、考え方も柔軟にし同じ支援を行うのではなく合った支援を行う様にしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月6日(15:00~16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名(野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	3人	人	9

前回の改善計画
地域資源について何があるのか情報収集をしていく。家族とは連絡帳や送迎時に情報交換していき繋がりを大事にしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様に関わる地域資源は何があるのか出し合い有効的に利用できるよう把握に努めている。家族との情報共有の為に連絡帳の活用がうまく出来だしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	3	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7	1	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	5	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6	2	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人との会話の中での情報収集、家族との情報共有が以前よりスムーズに出来ている。認知症の1人暮らしの方で自宅での生活が困難になった方でも外部の支援や民生委員との連絡を取り合う事で自宅に帰る事も出来ている。その際、連絡帳を用意し情報交換できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍である事から、地域との交流はほとんど出来ていない。地域の資源についての把握が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域資源について何があるのか個々で調べ情報収集をしていく。地域との交流ができる会議等は可能な限り参加をし、地域の情報を得るようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月24日 (14:00~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画
支援を事業所だけが抱え込むのではなく集めた情報をもとにうまく地域や公的サポートを利用していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
公的サポートを利用しながら自宅で過ごす事が困難な方が短時間ではあるが週2回自宅に帰る事が出来ている。以前とは違って家族の支援も受けられている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	5	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	5	3		9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		5	3	1	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7	2		9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他分野・他事業所が利用する事が出来ている。緊急対応が多かったが適切に提供出来るように回数の見直しもおこなった。
以前より変化への気づきなどが多くなってきており、会議で検討をするにあたり議題も多く出すことが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
長期間、希望する回数いっぱい利用していると適切な利用の説明を家族におこなうが中々理解を得られない。
1人1人サービスの見直しをおこなっているが今、必要な支援が考えきれずやりすぎてしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
集めた資源や情報をもとに利用者に合った個別の支援が行えるようにしていく。その中で、緊急的な対応など柔軟に対応出来るように回数や支援内容を適宜話し合い見直しをおこなっていくようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月24日 (14:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	1人	2人	5人	9人

前回の改善計画	地域との関係を構築していく為に地域活動や会議に積極的に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍であり、地域活動など中止になったりで参加は出来ていないが、地域の研修等参加できるものに関しては参加出来ている。少しずつだが、介護職員も外部研修や会議に参加できるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		4	3	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1		3	5	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			4	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			2	7	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域の交流会などがあれば参加出来ている。他のサービス機関との担当者会議など介護職員も参加ができる様になっている。毎回の会議や多職種の会議にも参加出来ている。 感染予防を行い、少人数での面会の受け入れは出来た。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍という事もあり、外部からのボランティアなど交流が無かった。 団体でのボランティアの受け入れや行事などおこなえなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域との関係を構築していく為に地域活動や会議に積極的に参加していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月24日 (14:00~15:00)

7. 運営

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	2人	1人	9人

前回の改善計画	研修などを通して事業所の在りかたについても意見が言い合える雰囲気作り。その職員からの声を運営会議などにも反映していく 本人様に必要なサービスを提案していけるように意識を持って支援や業務を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	基本的な知識を初心に戻り内部研修をおこなった。個々で疑問に思う事があれば何についてどこが疑問点なのかを話し合う事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	3	3	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	3		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	6	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	5	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 1つずつ事業所の在りかたについては話し合いを重ねられている。苦情があった場合には職員で共有し同じ苦情にならないように検討をおこなっている。 利用者様が安心して生活していけるように必要な関係各所とは連携している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナの影響で地域との関わりが減っており、地域との関わり的重要性・地域密着型である事の認識が薄い。介護・医療として考えている為、運営としてまでの思いまでに至っていない。 行動1つ1つの意識不足。苦情があった場合の検討もうまく反映できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 前向きに事業所をよくするために知識を付け、職員同士が意識した行動をしていく。 運営会議にも職員の声が上がった時には反映出来るようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月24日 (14:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	5人	人	9人

前回の改善計画
事業所内の研修の実施、事業所外への研修の参加を積極的に行い、統一したケアを目指していく。事故（リスク）についてタイムリーに情報を共有し、事故防止に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
事業所内の研修も各職員にテーマを決めてもらいおこなっている。会議で話し合った決定事項を行い統一したケアを目指しているが独断で内容を変更し中々統一が出来ない。その都度、変更した理由を聞き再検討が必要な時は一定数の職員が集まり再検討している。リスク（事故）が起きた際、検討しているが同じ事故を起こしてしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		5	3	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	6	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	2		4	3	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	2	1	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
少しずつではあるが、職場内・外の研修に参加出来るようになってきている。必ず研修報告書を提出し理解度の確認もおこなっている。
リスクの検討は早めの話し合いをおこなっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
支援内容を統一して支援できるように決定しているにも関わらず話し合いもなく支援内容を変えてしまっている。
事故（リスク）が起きた際に話し合いは出来ているが、同じ事故（リスク）を起こしてしまっている。
リスクに対しての危機感が無い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
統一ケアを目指し各々が意識を持って支援にあたる為に、疑問に思う事は自主的に調べるようにする。発信を自分から行う。
事故（リスク）において、検討をしたからと終えるのでは無く、同じ事故が起きないようにリスクマネジメントを行う。リスク（事故）に慣れない。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月24日 (14:00~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名 (野崎、山本、鈴木、林、池田、友次、山田、坂根、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	2人	人	9人

前回の改善計画	個人情報を取り扱う際には、細心の注意をはらう。(フロア内で大声で話さない、先入観で話さない)
前回の改善計画に対する取組み結果	個人が特定される書類などが机の上に散在している。情報については、回覧にするなど以前よりは工夫出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2			9
②	虐待は行われていない	7	2			9
③	プライバシーが守られている	3	4	2		9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	6	1		9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	1		9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 入浴やトイレなど、プライバシーに配慮して支援がおこなえている。 自分が行う介助などが拘束にあたるのか不安があれば必ず聞いてから支援を行う様にしている。 成年後見制度が必要な方には提案をさせてもらっている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ホール内で大きな声で利用者やご家族の話をする場合がある。 利用者が見えるところに個人のもの(情報)が置かれている。 スピーチロックになりそうな場面が多々ある。介護技術・認識の低さによる危険な介助を気付かず行われている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事業所内の研修の中で定期的に介護技術や介護の基本的な考えについて職員で考えるようにしていく。 個人情報を話すときのタイミングや場所を考えて話すようにする。書類に関して、すぐ目に付くような所に放置しない。
---------------	--